

2018年11月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2019年2月1日

在ドミニカ共和国日本大使館

1 内政

- (1) 10日、ダハボン県におけるハイチとの国境付近において、ドミニカ（共）人医師ペドロ・ウレニャ氏ら7名がハイチ人に襲撃される事件が発生。
- (2) 11日、最大野党PRM（現代革命党）の国家委員会が開催され、2019年の同党予備選の実施方法が党员名簿により行われる旨決定。
- (3) 20日、内務警察省は昨今殺人事件件数は減少しており、2018年末における10万人当たりの殺人事件件数は10.4件になる見込みと発表。
- (4) 21日、当地NGO「Docesj-Center」が2017年の米国統計局データを元に作成した報告書の中で、2018年の在米ドミニカ（共）人が208万1419名であると発表。

2 外交

(1) 対中関係

ア メディーナ大統領の訪中

- (ア) 2日、李克強首相と会談を実施。
- (イ) 2日、習近平主席との首脳会談、18の合意を締結。
- (ウ) 3日、栗戦書全国人民代表大会常務委員長との会談を実施。
- (エ) 3日、在中国ドミニカ（共）大使館開所式に出席。
- (オ) 5日、第一回上海国際貿易博覧会に出席。

イ 中国海軍病院船「Arca de la Paz」の寄港

1日、中国海軍病院船「Arca de la Paz」が当国に到着、8日間の滞在中に計3200名の無料診療を行った。

ウ 中国における領事館の開設

12日付リスティン・ディアリオ紙は、ドミニカ（共）が上海、広州及び北京に領事館を開設するための手続きを開始した旨報道。

エ 中国国営企業Power China社による風力発電への投資

16日付オイ紙は、中国国営企業Power China社が当国北部プエルトプラタ県に115メガワットの発電量を有する風力発電所の建設に約2億6000万ドルの投資を行う予定である旨報道。

(2) ウルグアイ外相のドミニカ（共）訪問

12日、バルガス外相とニン・ノボア・ウルグアイ外相がドミニカ（共）外務省にて二国間アジェンダ及び共通の関心事項につき会談を行った他、移民、航空サービス、通商・投資に係る3つの合意に署名。

(3) バルガス外相のイベロアメリカサミット出席

15日－16日、バルガス外相はグアテマラのアンティグアにて開催されたイベロアメリカサミットに出席、2030年に向けたSDGsにつき協議。

(4) バルガス外相のUAE訪問

24日、バルガス外相がUAEにてアブダラーUAE外相と会談し外交、経済、文化及び学術に係る覚書に署名。

(5) バルガス外相のロシア訪問

26日、バルガス外相は、ロシアにてラブロフ露外相と2019年の安保理非常任理事国入りにつき会談し、査証免除及び政治対話に係る合意に署名した他、27日、ティムール露経済発展省次官と通商・投資の促進に係る協力合意に署名。

3 経済

(1) 12日、当地訪問中のIMFミッションは中銀のバルデス総裁を訪問、当国の経済成長につき意見交換を実施。翌13日同ミッションは、ゲレーロ財務大臣及びサンタナ経済企画開発大臣と財政状況等につき意見交換を実施。

(2) 22日、ゲレーロ財務大臣は政府が目標に掲げる財政合意が2020年に締結される見込みであると発表。

4 二国間関係

(1) 6日及び19日付当地主要紙リスティン・ディアリオ紙は、先般、JICAの「2018年度海外メディア本邦招聘プログラム：中南米地域の開発課題に貢献する日本の技術と経験～環境・再生可能エネルギー～」により訪日したリリアン・テヘダ記者による日本経済の記事を掲載。

(2) 29日付当地主要紙オイ紙は、当国の著名ジャーナリスト兼政治アナリストであるフアン・ポリバル・ディアス氏が先般、初訪日（個人旅行）した際の日本の印象を綴った論説を掲載。

(別添1) 経済指標

(了)